

観光・スポーツ分野 政策 2 「スポーツを通じた活気あふれる社会の実現」

目指す姿 1

市民がスポーツを通じて、健やかで充実した余暇を過ごすとともに、地域で行われるスポーツ活動が充実し、地域コミュニティが活性化している。

【現状と課題】

- スポーツ庁の調査によると、健康志向の高まりとともに、近年、成人の週 1 日以上のスポーツ実施率が上昇傾向にあります。運動・スポーツの阻害要因としては、「仕事や家事が忙しいこと」を理由に挙げる人の割合が最も多くなっています。
- 本市には、地域でのスポーツ活動を支える地域コミュニティが充実しています。
- 市内のスポーツ施設には、老朽化が進んだ施設やバリアフリーへの対応が不十分な施設があります。

【目指す姿を実現するための方向性】

人

ア スポーツを支える人材の育成

日常的に運動・スポーツに親しむ市民を支援する人材をはじめ、競技者の競技力の向上を目指し、科学的なアプローチを取り入れた指導を行う指導者やスポーツイベントの運営等を行うスポーツボランティアなど、スポーツを支える人材の育成に取り組みます。

地域

イ 地域の活力の源となる、地域スポーツクラブの育成、運営支援

地域スポーツの振興を通じて、人と人との交流を促進し、地域の活力を高めるため、競技団体や教育機関、行政が連携して、地域スポーツクラブの育成、運営支援に取り組みます。

活力

ウ スポーツを楽しむ機会の創出

- スポーツイベントの情報発信に加え、スポーツを「する」ことの効用や「みる」ことの魅力を積極的に発信し、市民のスポーツへの関心を高めます。
- 市民ニーズに応じた多様なスポーツイベントの開催や、競技団体・企業等の多様な取組を支援し、子どもや親子、高齢者、女性がライフスタイルやライフステージに応じてスポーツを楽しむ機会の提供に取り組みます。

土台

エ 誰もが身近で安全・安心に、スポーツに取り組める環境づくり

- 市民が身近な場所でスポーツに取り組めるよう、市立スポーツ施設の適切な管理運営をはじめ、企業や学校等が所有する施設の有効活用を図ります。
- スポーツによるけがや事故、熱中症などの予防をはじめ、安全で安心に、スポーツに取り組める環境づくりを進めるとともに、スポーツ施設の整備にあたっては、施設のバリアフリー化や多言語対応など、性別・国籍・障害の有無に関わらず誰もが利用しやすい環境の整備に取り組みます。

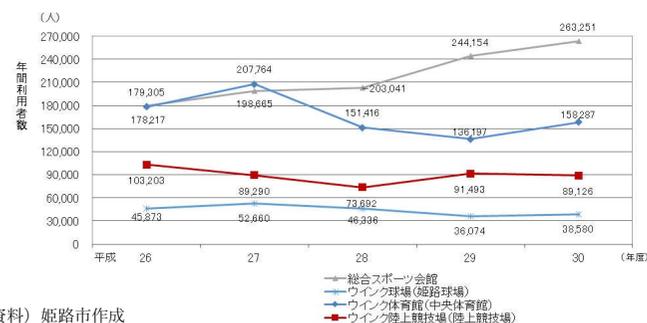
目指す姿 2

スポーツがまちの新たな魅力となって、まちが賑わっている。

【現状と課題】

- 姫路城マラソンの開催期間中、参加者だけでなく応援をする人や観戦者など、多くの人が本市を訪れます。大規模なスポーツイベントの開催やトップスポーツチームの活躍は、地域経済の活性化やまちの魅力として注目されています。
- 本市は、トップスポーツから市民の健康増進・レクリエーションまで、幅広く対応できる交流空間の創出に向けて、手柄山中央公園の施設整備を進めています。

※関連データ：手柄山周辺の主なスポーツ施設の利用状況



(資料) 姫路市作成

【目指す姿を実現するための方向性】

活力

オ 姫路が誇るスポーツ資源を活かしたまちの賑わいづくり

スポーツを文化として捉え、「する」「みる」「ささえる」など様々な形でスポーツに参加する人が生きがいや魅力を感じる全国的規模のスポーツイベントの開催や、トップスポーツチームへの支援などを通じて、スポーツのすそ野と交流人口の拡大に取り組みます。

土台

カ 競技者と観客に「感動」を与える環境づくり

スポーツ施設の整備、運営にあたっては、競技者と観客の視点に立った施設整備と運営を行い、民間の活力やノウハウを活用しながら、競技者と観客に「感動」を与える環境づくりに取り組みます。

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

市民

➤ スポーツへの関心と理解を深め、スポーツに積極的に参加しましょう。

地域コミュニティ

➤ スポーツクラブ 2 1をはじめ、地域でのスポーツ活動を通じて、地域住民の交流を深め、地域コミュニティを活性化しましょう。

企業・団体

➤ 働く人が気軽にスポーツに取り組める環境を整えるとともに、スポーツを一つの産業と捉え、地域のスポーツ資源を活かしたまちの新たな魅力づくりに取り組みましょう。